



2月 園だより

2025年2月1日
尚徳福祉会 仲町保育園
03-5340-7921

暦では一番寒い頃を過ぎ春に向かってはいますが、朝晩は背中を丸めたくなるほど寒い日もあり、春のポカポカ陽気が待ち遠しいですね。そんな冬の日々ですが、子どもたちは元気いっぱいに戸外遊びを楽しんでいます。そして子どもたちだけでなく、仲町職員は薄着で戸外に出て子どもたちと遊んでいます。真冬なのに半袖で過ごす職員もいます。子どもたちと過ごす、いつの間にか元気パワーがみなぎり寒さが苦ではなくなるのでしょう。

さて、節分と言えば「鬼」を連想する方も多いと思いますが、昨日に保育園では節分会がありました。節分は子どもたちに伝承していきたい日本の行事のひとつですが、豆の誤嚥防止や鬼を怖がる子どもたちへの配慮が必要な行事です。節分会担当の職員は「鬼だけ怖くなくて鬼らしい鬼」を作るのに苦労をしていました。新聞紙豆（本物の豆は使いません）で豆まきをする際に使う鬼のお面や小道具を何にするのか、担任たちも悩んで考えて子どもたちと準備をしました。そして迎えた節分会。子どもたちは「イヤイヤ鬼」「困った鬼」「泣き虫鬼」などを、それぞれの思いで退治したことでしょう。

日本の文化や行事を伝えていくのも、保育園の大きな役割と思っています。2月2日は節分です。ぜひご家庭でも子どもたちに話を聞いたり、安全に配慮して節分を味わってみてください。

私事ですが、我が家の次男は怖いものがとても苦手でした。ある日、通っている園の3歳児クラス担任の先生からお電話が来ました。「絶対嫌だと言って鬼のお面を作りません。このままだと、当日被るお面が次男君だけありませんが…」とのこと。様子を見て次男に聞いてみました。

「鬼なんて居ない方がいいのに、なんでわざわざ作るの？」と気持ちを話してくれました。こうしてお面を被らないまま次男は豆まきに参加し、楽しみながら過ごしたようです。翌年からは鬼制作も積極的に取り組んだそうです。「10人の子どもがいれば、10通りの参加の形がある」とは、まさにこのことなのでしょう。親にとっても貴重な経験でした。

園長 佐藤祐子

《お願い》

- 9時半を過ぎて登園される場合は一報のお願いをしておりますが、ご協力をいただきありがとうございます。9時半を過ぎてもご連絡がなく登園されていないお子様のご家庭には、安全確認のため保育園から順々にお電話をさせていただいています。
- 登降園管理システム「おがーる」の打刻、玄関ドアの開ボタンの操作は、大人の方をお願いしています。押すお子さんが玄関から出ていなくても、近くにいる小さいクラスの子も出て行ってしまいかもかもしれません。安全な園生活のためにも、玄関ドアの開ボタンを子どもたちに触らせないようにお願いいたします。また、「おがーる」の名前の押し間違いも発生しています。お迎えに行っていないにもかかわらず降園の表示が出て、心配される保護者がいらっしゃいます。打刻は保護者の方が行うようお願いいたします。間違えた場合は、事務所までお知らせください。



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 1歳保護者会	4 幼児身体計測	5 3歳保護者会 乳児身体計測	6 0歳児健診	7 作品展 (夕方から)	8
9	10	11 建国記念日	12	13 0歳児健診	14	15
16	17	18	19 英語であそぼう	20	21	22
23 天皇記念日	24 振替休日	25	26 英語であそぼう	27 避難訓練	28	

【作品展について】

2月7日の夕方から13日まで作品展を開催いたします。子どもたちが春から作りためた物やテーマに沿って制作した作品が、園舎内に展示されます。子どもたちが色を選び、形を考え、思い思いの作品を作りました。その時の子どもたちの思いも想像しながらご覧ください。また、保護者の皆様から土曜日にゆっくり鑑賞したいとのご意見がありましたので、今年度は8日9:00~16:00にもご覧いただけます。安全のため、2Fホールに上がる時には必ず土曜保育職員にお声がけください。土曜保育を行っています。登園している子どもたちの安全と午睡時間に配慮をお願いいたします。

【保護者会について】

0・2・4・5歳児クラスの保護者のみなさまには、お忙しい中、たくさんのご出席をありがとうございました。グループトークのお時間には、保護者の皆様の思いをたくさん伺うことができました。ありがとうございました。1・3歳児クラスの懇談会は来週です。どうぞよろしくをお願いいたします。

【近隣の小学校・保育園との交流】5歳児クラス

中野区内の小学校の行事にお招きいただいたり、近隣の保育園と触れ合い保育をしたりと、交流を楽しんでいます。12月には谷戸小学校の行事鑑賞と学校見学を予定していましたが、感染症拡大のため残念ながらキャンセルをお願いしました。今月は「中野第一小学校」「ナーサリー中野の森」「モニカ新中野園」との交流を予定しています。その他、近隣の6園のみなさまとのイベントに参加をしたり、互いの園を行き来したりするなどの交流の機会を度々持っています。子どもたちだけでなく、職員も小学校の様子を実際に見ることが出来て、卒園後の子どもたちの姿の理解に繋がります。園交流では、互いの保育を見ることで、多様な保育を学ぶ機会になります。今後も継続していきたいと思っています。

※わからないことや疑問に思っていることがございましたら、いつでも事務所にお声掛けください。